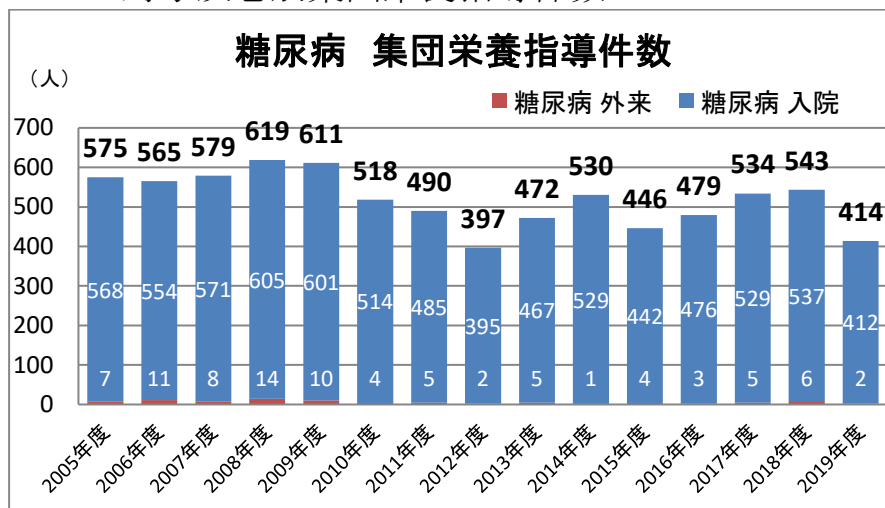
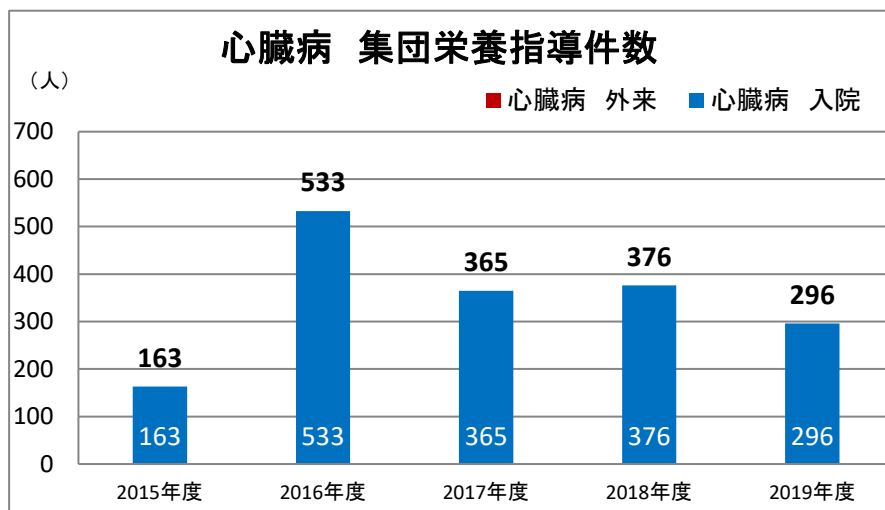


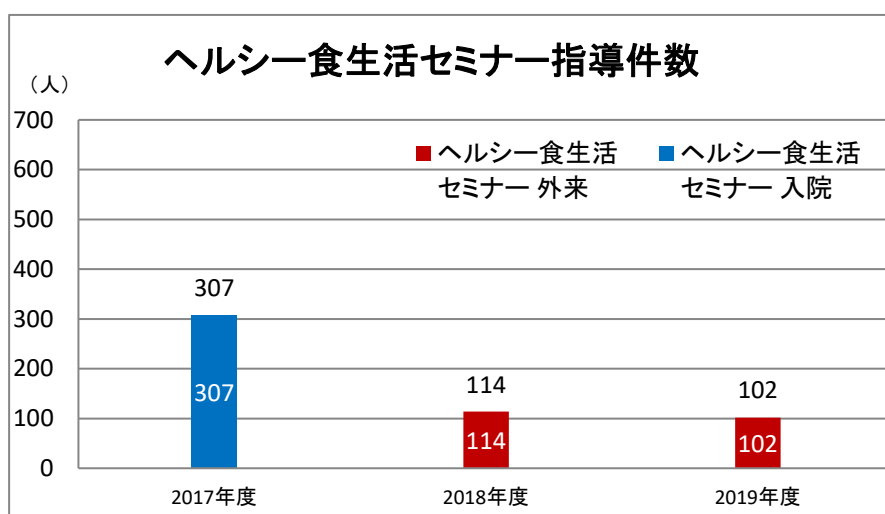
9 6. 対象疾患別集団栄養指導件数



2019年度は、前年度に比較し、件数が減少した。患者の生活環境や食生活の多様化により、個人栄養指導の需要が高まっていることが要因と考えられる。



2019年度は、前年度に比較し、件数が減少した。再入院が増えてきており、また、患者の高齢化などから、集団指導から個人栄養指導に移行していると考えられる。



食生活セミナーは、睡眠無呼吸障害外来通院中の肥満や糖尿病、脂質異常症などの疾患をもつ患者に行っている。指導は1コース6回(6ヵ月)で開催している。患者の継続率は68.3%であり、継続率向上のために、魅力のある教室となるように検討していきたい。